

一般質問



深田 康孝（日本共産党）
離婚・別居で子どもが不利益を被ってはならない

問 先進市では、両親に向け「親の離婚と子どもの気持ち」という手引きを配布し、離婚という一大事に翻弄される子どもの気持ちに寄り添う話し合いを、まず行うべきと啓発しています。また、離婚後に片親の病気等で貧困に陥るケース、別居親に会えなくなることで精神的に落ち着かず不登校になったり、自己肯定感が低く生きづらさを抱えている子どもたちの存在を踏まえて、独自に親子交流支援を行っていることについて、市長の考えは。

答 先進市の手引きなどを研究し、取り入れることが出来るのか検討していきます。

今定例会では、17人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行われます。

質問を希望する議員は、あらかじめ議長に対して質問事項を通告し、執行部は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

地域住民の不安解消に向けた西城・西新宿地区の水害対策強化を

問 水害対策のための第一排水機場の新設ゲート、設ゲートの早急な設置完了と同時に、緊急時に対応する職員の確保を求めますが、市長の考えは。

答 西新宿地区第一排水機場の新設ゲートについては、一刻も早く設置するため関係機関と調整していきます。また、ポンプ操作は、気象状況を見極め、白岡市と連携し、担当職員が適切に操作することが大切だと考えます。

地域住民などの憩いの場である山ノ神沼の早急な再整備を

問 東屋の設置を望む声や地域伝統の「まこも馬」作りに欠かせない自生する「まこも」を守るために、湿生植物園の復活を望む声に対しての考えは。

答 新たな植栽植え込みについては、状況をみながら検討します。湿生植物園

の活用は、「山ノ神沼敬愛会」や、地域住民のご意見をうかがい研究していきます。



山ノ神沼



山田 孝夫（公明党）
障がい者65歳問題について

問 ご本人、ご家族に寄り添い、介護保険サービスと障がい福祉サービスを併給する事例は。

答 介護保険サービスへの移行に不安を感じるかたや、希望するサービス事業所の受け入れ体制が整わない等の事情がある場合は、一定期間に限り、二つのサービスの併給が必要と判断することがあります。

問 65歳以上の障がい者の障害福祉サービス継続利用について、高齢の障がい者、ご家族の思いに寄り添い、弾力的な運用をする考えは。市長に問う。

答 ご本人、ご家族のご意向を丁寧にご確認させていただき、ご本人の人生を自

分らしく過ごせるよう、サービスの提案を進めていきます。

おたふくかぜワクチンについて

問 助成費用の試算は。

答 県内市町の助成額の平均3500円を一人当たり2回実施すると仮定した場合、令和5年度の出生数315人分で試算すると、年間220万5000円となります。

問 接種費用助成の考えは。市長に問う。

答 おたふくかぜワクチンは、国の審議会が定期予防接種化についての審議が続いており、国の動向に注視し、調査研究していきます。

学校の音環境について

問 専門業者による測定の考えは。

答 聞こえづらさについて、各校から報告がないことから、実施調査の必要はないと考えています。

問 宇都宮大学の長谷川教授の提言とSTI値（※）測定の必要性についての所見は。教育長に問う。

答 「音圧レベル、周囲騒音のレベル、残響時間」の3要素の視点で、音環境を判断する必要があると考えており、先行自治体の取り組みを慎重に調査研究していきます。

※STI値とは、音の「明瞭度・聞き取りやすさ」を0〜1の数値で表した指標。



豊嶋 通（はすだ政和会）
DX推進計画におけるキャッシュレス決済の取組について

問 課題は。

答 導入する窓口の範囲や優先順位、決済端末や事業者の選定のほか、会計事務の整備などが課題として挙げられます。また、それぞれの課で業務内容や取り扱い件数も違うことから、導入に向けた要望も異なり、全庁的な方針のまとめに時間を要しています。

問 現時点でキャッシュレス決済の要望が強く、優先順位が高いと思われる部署はどこか。

答 市役所市民課の窓口、蓮田駅西口行政センター内の窓口、市役所税務課・収納課の窓口について優先度が高いと考えています。

問 今後は。

答 まずはスモールスタートを始め、計画的にステップアップする手法が有効ではないかと考えています。7月中进行途に検討部会やDX推進本部会議を開催して、市の基本的な方針をまとめ、できるだけ早い時期にスタートしていききたいと考えています。



保護司について

問 保護司の数は。

答 蓮田市の定数は14名で、現在は10名のかたが保護司として委嘱されています。

問 公共施設を面接場所として提供しているかがか。

答 保護司の多くが自宅や職場で面接を行っています。市として、保護司から面接場所の提供依頼があった際には、可能な限り公共施設を面接場所として利用できるよう調整を行い、保護司のご家族のプライバシーや保護司本人の不安や負担感を和らげられるよう努めていきます。

※ほかに、蓮田市公共施設予約・案内システム、埼玉県思いやり駐車場制度（パーキング・パーミット制度）について質問。



武藤 康史（市民クラブ未来）
令和6年度蓮田市一般会計予算について

問 当初予算の概要と3か年実施計画の数字の関連性について丁寧に説明してください。

答 予算と実施計画の数字は異なる性格のもので相互の関連性は高くないと考えています。

問 同じ予算の概要の基本政策別事業額が昨年度と大きく違う理由は。

答 新規事業や市民に身近な事業など、市としてPRしたいものを記載しており、年ごとに内容が違うものです。

PPP/PFIについて

問 今後、公共施設等の整備においてPPP/PFIという民間の力を活用していく方針はあるのか。

答 PFIの検討を進めることは必要で有意義なものと考えています。PFIを事業手法の一つとして優先して検討する手続きを定める規程の整備を進めています。

問 既存事業を含めた検討にPFI手法を活用するという庁内の認識の共有は。副市長に問う。

答 今後、大規模工事等でPFIによる効率的な事業化の検討を進める必要があります。市職員の意識づけ、事例作りが重要と考えます。

公共施設等におけるコスト縮減について

問 公共施設整備の費用を縮減するためには、DBO（設計・工事・維持管理の一体委託）の活用が有効と考えるが、今後の導入の考え方は。

答 規程の整備の中で、基本手法の一つとしてDBO方式を採用することを検討しています。

問 LED化によって電力料金が7割下がると言われており、初期費用、新規財源ゼロのリース方式での事業化が各地で見られる。経済性から考えてすぐ実行しない手はないと思うがいかか。市長に問う。

答 リース方式は市としても小中学校のエアコン導入で経験を有しており、できるだけ速やかに検討に着手したいと思っています。



関根 守男（はすだ政和会）
高虫西部地区産業団地整備事業について

問 現在の状況、今後の進め方は。

答 高虫西部地区は、面積が約26・3ヘクタールを有しており、埼玉県が令和6年5月17日に市街化区域に編入告示、環境影響評価制度に基づく評価書の縦覧等を実施しました。蓮田市高虫西部土地画整理組合は、令和6年5月27日に設立され、事業期間は令和11年度までの5年間を見込んでいます。現在は、まちづくりのルール策定や今年度中の造成工事の着手に向けて関係機関と調整等を進めています。今後、正御地遺跡、高都原遺跡の発掘調査を行い、期間は令和6年6月から2年程度を見込んでいます。県道行田蓮田バイパスの整備については、今年度、蓮田市が整備する区間は、路線測量と予備設計を実施します。

乗合タクシー「おりづる号」の運行について

問 現在の状況、今後の取り組みは。

答 令和6年4月1日から実証運行を開始し、1日平均100人程の利用があります。午前中の便で定員を超える場合があります。本格運行については、半年間の収支率が40%以上の場合に移行します。多くのかたにご利用いただくことが大切と考えています。

大字馬込地内の八幡橋の改修について

問 現在の状況、今後の進め方は。

答 現在、予備設計の段階まで終了しており、幅員7.2メートルで相互交通が可能となる計画です。できるだけ早い段階で詳細設計に着手していきます。

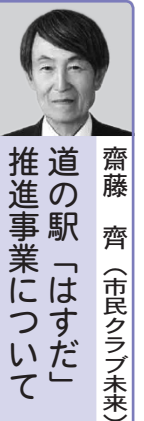
黒浜公園利用者駐車場の整備について

問 黒浜公園の駐車場は狭く、停めにくい。整備に関する市の考えは。

答 黒浜公園利用者駐車場の1区画当たりの駐車マスが狭いことや、高齢者や障がい者等の設置基準に適合していないこと等については認識しています。今後、関係する部署と調整・検討していきます。



黒浜公園駐車場



齋藤 齊（市民クラブ未来）
道の駅「はすだ」
推進事業について

問 農業や観光の活性化施設を整備するとともに、市の認知度や交流人口の拡大を図るための道の駅整備の検討についての進捗状況は。

答 県内外の道の駅の視察、フォーラムへの参加、候補地選定など、事業化の研究をしている状況です。これまでの研究過程において、施設用地の確保、施設整備のための財源、維持管理するための経営や運営手法等に、さまざまな課題が見えてきており、道の駅「はすだ」推進事業は、慎重に進めなければならないものと考えています。

問 新しい雇用や収入源を生む街の中心拠点としての道の駅を作るため、強力な推進プロジェクトチームを編成する計画は。

答 これまでの研究過程で見えてきたさまざまな課題に鑑み、現段階ではプロジェクトチームを編成する計画はありません。

サービスエリア活用事業について

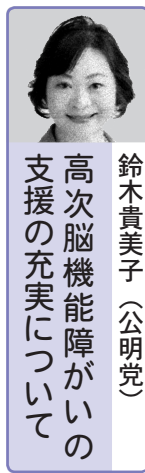
問 サービスエリアを活用し、農商工連携により地元農産物並びに加工品の販売等による地域活性化の推進についての成果は。

答 高速道路利用者並びに市民のかたがたに地元で採れた新鮮な野菜を提供することで、蓮田産農産物のPRを行えるとともに出荷する農業者の販路を確保し、所

得向上を図ることが成果であると考えています。

問 今後さらなる方策は。

答 サービスエリアは、蓮田の特産品等を多くのかたがたにPRできる貴重な場所なので、東日本高速道路株式会社（NEXCO東日本）とそのグループ企業や、各関係団体のご協力をいただき、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となっていた地域活性化のためのイベントを再開したいと考えています。



鈴木貴美子（公明党）
高次脳機能障がいの
支援の充実について

問 高次脳機能障がいとは、交通事故や病気など脳の一部分が損傷を受けた後に症状が現れる。症状としては、記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などがある。外見からわかりにくく「見えないう障がい」とも言われているため、周囲の人の理解や配慮が必要。住み慣れた地域で、安心して生活し続けられる支援体制の充実が求められているが、いかがか。

答 市民に対し、今後高次脳障がいについて十分な理解を深めるための啓発に努めていきます。また、より専門的な相談が必要となる場合に備えて、県や関係機関との連携をより深め、相談支援体制等のさらなる充実を図っていきます。



ホームページで
会議録が閲覧
できます

<https://www.city.hasuda.saitama.jp/>

議案の審議内容や一般質問などを詳しくお知りになりたい場合は、市議会会議録がホームページでご覧いただけます。
会議録は、次の施設でご覧になります。

- 市役所行政資料コーナー
- 蓮田駅西口行政センター
- コミュニティセンター
- 農業者トレーニングセンター
- 図書館
- 中央公民館及び関山分館
- 勤労青少年ホーム

ブックスタート事業の多言語対応について

問 ブックスタートは、赤ちゃんと保護者が絵本を介して、親子の触れ合いや絆を深めるきっかけ作りを目的として、絵本をプレゼントする子育て支援事業。日本語以外を母国語とする多言語語のかたが、利用しやすい工夫や配慮が必要ではないか。

答 絵本の多言語版などを活用し、ブックスタートの趣旨やご家庭での赤ちゃんとの絵本の時間が充実するよう、お伝えしていきます。

電話リレーサービスについて

問 公共インフラとして電話リレーサービスがスタートした。パソコンやスマートフォンなどのビデオ通話機能を通じて、聴覚障がい者、難聴者、発話困難者と聞こえる人の間にオペレーターが入って、手話、または文字と、聞こえる人の音声とを通訳し、双方方向にたぐサービスである。多くの市民に周知すべきではないか。

答 聴覚障がい等のあるかたへの周知を継続するとともに、電話の相手方となる健常者に対する周知も必要であるため、市のホームページの周知内容を検討していきます。



菊池 義人（市民クラブ未来）
公園トイレの改修工事について

問 堂山公園のトイレ改修工事はこれまで4回の入札を行い、それぞれ不調と

なっているが、現状はどうなっているか。

答 1度目の入札は令和5年6月5日に開札を行いました。応札者がいなかったため入札の執行が中止となり、2度目の入札は令和5年8月8日に開札を行いました。再び応札者が居なかったため入札の執行が中止となりました。3度目の入札は令和6年2月7日に開札を行い1者の応札がありましたが、予定価格超過により不落となったため入札の執行が中止となりました。4度目の入札は令和6年5月31日及び令和6年6月3日に開札を計3回行い、2者の応札がありましたが予定価格超過したことにより不落となったため入札の執行が中止となりました。4回目の入札後に地方自治法施行令第167条の2第1項第8号に規定される随意契約、いわゆる不落随契を行いました。

問 堂山公園のトイレ1m当たりの単価は。

答 建物の契約額での1m当たりの単価は123万7520円です。

問 1回目の入札の設計金額はいくらか。

答 1回目の入札の設計金額での1m当たりの単価は、98万2000円です。

問 規模の小さいトイレ設置工事などは、事業者にとって効率的でなく生産性が低く魅力的ではない工事となつてしまっている。今後は複数の工事をあわせて1件の案件としていくなどの工夫を行ってはどうか。

答 現在、埼玉県が発注する工事においても複数の工事をまとめて発注する工夫を行っております。蓮田市においても入

札の不落対策の一つとして有効な方法と認識しているとともに、今後導入することについて関係部署と協議を行います。

※ほかに、入札契約制度について、少額の随意契約の特例について、小学校のトイレ改修について質問。



諸根 善昭（日本共産党）
一人暮らしの高齢者に手厚い支援を

問 高齢者を支えている民生委員が定員144名中12名も欠員だが、その対策は。

答 推薦をお願いしている自治会長に負担をかけていることは承知しています。実情を把握しているかたがたと協力体制をとり、欠員の解消に努めます。

問 高齢者の見守り支援で、全世帯を訪問する水道検針員のさらなる協力を求めているどうか。

答 水道検針員の協力を得ながら、水道課との連携を図ります。

問 防犯カメラは2万円、録画機能付きドアホンは7000円を限度に2分の1を補助している荒川区を参考に、当面一人暮らしの高齢者を対象に防犯器具購入の補助をしてはどうか。

答 防犯対策の主管課と連携し、近隣市町の取り組みを参考に研究します。



埼葛人権を考えるつどいの中止の教訓を踏まえ、同和関連事業への支出はやめるべき

問 埼葛人権を考えるつどいの中止理由と蓮田市としての対応は。

答 埼葛市町が人権啓発推進埼葛実行委員会に支出している負担金に使途不明金があると判明したことを理由に久喜市が脱退したことを受け、埼葛市町と関係団体で協議した結果、諸課題を整理するために中止を決めました。

問 蓮田市が負担していた年間22万5000円については、会計報告はあったのか。

答 ありませんでした。主催者の一員として市にも責任があったと深く反省しています。

問 同和事業は1997年3月末以来特別扱いしないで一般施策で対応する段階に入った。同和関連事業への支出は中止すべきでは。

答 埼葛市町で諸課題の解決について整理、調整を図る中で総合的に判断し、今後どうするかは蓮田市として主体的に考えていきます。



山田慎太郎（はすだ政和会）
空き店舗支援事業に関して

問 今後の取り組みは。

答 蓮田市には、空き店舗支援事業に関する補助はありません。しかし、空き店舗支援事業に一部対応し

た取り組みとして、蓮田市内で起業されたかたに対し、その起業に要する費用の一部について補助する「蓮田市起業家支援事業補助金」があります。

この補助金は、補助対象経費の2分の1以内の補助で、上限額は30万円ですが、設備費、備品購入費、広告宣伝費、登記費、賃借料と、幅広く活用できる補助金です。空き店舗活用に使える経費としては、設備費や賃借料などが該当します。

今後においても補助金の周知を行い、空き家に店舗を構える人はもとより、蓮田市で新たに創業をする人にも支援を行っていきたく考えています。

市庁舎の維持管理に関して

現状は。

市庁舎の建物については、昭和62年11月の竣工から37年を迎えようとしているところです。年数も経過していますので、建物や設備などにも不具合が生じ、その都度修繕対応等を行っている状況です。

急病人等の搬送の際にストレッチャーが必要な場合はどう対応するか。

ストレッチャー対応のエレベーターがない施設の場合は、搬送経路や搬送方法を考慮した対応になります。例を挙げると、車イスなどで座位の体勢にしてエレベーターを利用、または階段を利用して搬送を行います。

バリアフリー環境整備事業で蓮田市役所のエレベーターを改修したらどうか。

庁舎のエレベーターは、市役所本体と同年数を経過していますので、最近のものとは比べると、使い勝手や機能に違いがあります。市役所は多くの市民等が利用する施設です。利用するすべてのかたが、安全で利用しやすい施設にしていきたいと考えています。

エレベーター改修の検討と合わせ、今後バリアフリー環境整備事業について研究していきたいと考えています。



関根 香織(はすだ政和会)
市の防災力強化に向けた取組

今年度、洪水ハザードマップの改定を行う予定であるが、今回、元荒川や綾瀬川を含む中川流域の浸水想定を反映することに至った経緯は。

令和6年5月、中川流域が埼玉県により洪水浸水想定区域に指定されたことに伴い、中川流域の浸水想定区域を反映した洪水ハザードマップに更新します。

減らすためには、自身や家族の避難行動計画である「マイ・タイムライン」の活用が有効である。改定に合わせ、洪水ハザードマップに「マイ・タイムライン」を作成できるページを盛り込んでいくかがか。

スペースやレイアウトなどを整理した上で検討を進めていきます。

災害情報の取得に課題が生じるかたに対し、防災行政無線の内容を個別に取得できる戸別受信機を配備してはいかがか。

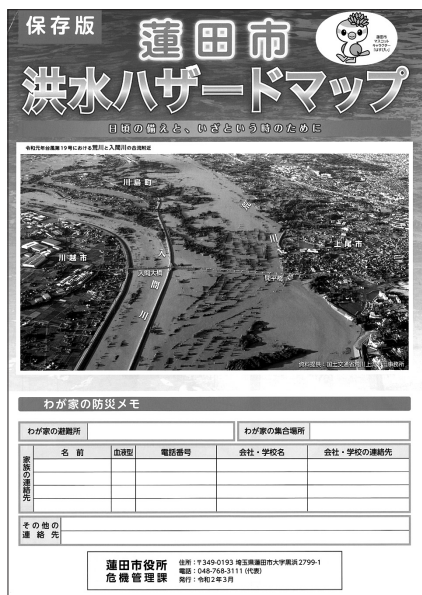
戸別受信機は、インターネットやメールを利用できない方への情報伝達手段として有効です。配備する方向で検討したいです。

メートル高い場所にある川島地区の住民の一時的な避難場所として活用できることを周知していただきたい。近隣住民の避難に関することを含め、災害時の具体的な対応について協議等は行われているか。

ネクセリア東日本と蓮田市との間で、包括的な連携協定の締結について調整を進めており、災害時の協力事項についても盛り込むことを打診していきたいです。

※このほかに、胃がん検診の受診率向上に向けた取組について質問。

現行の洪水ハザードマップ



現行の洪水ハザードマップ



近藤 純枝(はすだ政和会)
健康で安心して暮らせるようにするための歯科健診について

乳幼児歯科健診について、幼児期のデータは小学校での歯科健診に役に立つものと考えます。将来的には学校医との共有データとすることで問題を早く共有できる。安全な情報デジタル化も必要と思うが、いかがか。

入学時に学校へ伝える必要がある場合は、母子健康手帳に記載の健康結果を活用し、保護者から伝えてもらいます。

小・中学校の歯科健診について、不登校児童・生徒への対応については、地域関係者と連携して取り組んでいくことが大切と考えるが、いかがか。

学校を休みがちな児童・生徒に対しては、担任が日ごろの電話連絡や家庭訪問を行っています。また、市役所のケーソワーカー、スクールソーシャルワーカー、地域の民生児童委員の協力や関係者の連携が重要と考えています。現在、学校医・PTA関係者等が学校保健委員会を開催し協力体制を構築しています。

成人歯科健診の実施について、これまで40歳、50歳、60歳を対象に行うよう定められていたが、国においては令和6年4月から20歳、30歳から歯科健診の実施が位置づけられた。蓮田市では未実施のため、歯科健診の導入を考えていたが、市の考えは。

市としては引き続き歯の健康について周知啓発していくとともに、市の成

人に対する歯科健診の実施については、調査研究していきます。

保育士の働き方改革について

問 業務効率化につながるICTの導入について市の考えは。

答 システムの導入には多くの費用を費やすため、専用機器の性能や使いやすさの面で、今後、研究のうえ導入を検討していきます。

問 保育の質を向上させるための取り組みについて、ストレス管理のためのサポート体制やメンタルヘルスのケアも重要と考えるが、市の対応は。

答 園長、副園長や経験豊かな先輩保育士によるサポートも大切な要素です。市では専門家によるメンタルヘルスにかかる相談業務を実施して対応しています。



秦 邦雄（無会派）
環境学習館・黒浜沼周辺の環境行政について

問 新環境学習館建設や用地取得等に必要とした費用は。

答 建設関連が約6.6億円、土地の取得関連がトラスト地を含め約9000万円です。

問 環境学習館の今後の運営は。

答 新環境学習館での座学に加え、自然環境に接しながら学習が行えるメリットや自然環境を直接感じられるイベントの開催など、数多くの可能性を秘めています。市民のかたがたに分かりやすく、かつ専門

的な講座やイベントを企画したいと考えています。

問 令和7年夏の新環境学習館の開館イベントとして、黒浜沼の在来種であるホタルの観賞会や時期的にはトンボ観察会はどうか。

答 現在、来年8月のオープンを目指しています。ご提案のイベントも含め、環境学習館に見合った催しの検討を進めていきます。



黒浜沼

いきます。

問 当初計画した展望台について、バードウォッチングも兼ねたものを黒浜沼近くに造ることはいかがか。

答 建物設計当初は黒浜沼を一望できる展望台を検討しましたが、近隣への配

慮により設置を断念しました。今後、別の場所への設置等も含め調査・研究していきます。

問 黒浜沼やその周辺地域の管理についての考えは。

答 外来種が繁殖してしまうなど十分な管理はできていませんでした。今後は、現時点では、除草業務等は市が業者に委託発注し、外来植物対応や希少植物の保存等については、黒浜沼の自然を大切にする会等と相談し、トラスト地内の環境保全に努めたいと考えています。また、木道の修繕・管理や沿岸の保全については、関係者と協議して危険な状況にならないよう努めていきます。



高橋健一郎（公明党）
蓮田市における空き家等対策について

問 空家等対策の推進に関する特別措置法について、令和5年12月の法改正の概要と空き家等対策に関する現状の課題は。

答 改正法では「そのまま放置すれば特定空家等に該当することとなる恐れのある状態にあるもの」を「管理不全空家」と新たに位置づけ、相応の措置を講じます。課題は、所有者等が遠方に居住して、空き家等の管理をどうしていいか分からないケース、また土地、家屋の所有者が死亡した際に、適切な相続処理がされていないことなど、多くあります。

議会の傍聴ができます

市議会の本会議は、一般に公開されていて、傍聴することができます。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

●車いすでの傍聴ができます

市議会の議場には、車いす用の傍聴スペースが用意してあります。



●手話通訳者について

議会を傍聴する際に、手話通訳者を希望されるかたは、事前に議会事務局までご連絡ください。



●議会中継について

本会議は、インターネットによるライブ中継及び録画映像の視聴が可能です。

道路の安全対策と拡幅整備について

問 視線誘導標の設置基準は。

答 市が管理する道路については明確な基準はありません。また幹線道路等の整備にあたっては、警察との協議を踏まえて設置するケースがあります。市民のかたからの要望は現地確認を行ってから判断し、設置しています。

問 市道の拡幅整備の現状と、事業を着手する新規路線を決める際の条件は。

答 令和5年度は7路線の整備に取り組みました。このほか4路線は、工事完



視線誘導標

了に伴い、境界杭の設置を行いました。要望が出ている未着手路線は約30件。新規拡幅の際の条件として交通量、通学路の有無、地域的なバランス等を考慮し路線を決めています。



木佐木 昭男（新風会）
高虫西部地区産業団地整備について

問 土地区画整理事業に伴う権利移転については。

答 地区の従前の土地利用状況としては、農地が9割を占めており、また居住用建物の戸数は4戸という状況です。

問 事業計画における減歩率は。

答 現在の事業計画では、道路や調整池等の公共施設を整備するための公共減歩率が約19・6％、事業費の一部に充てるために売却する保留地減歩率が約32％の計画になっており、合計減歩率は51・6％となります。

問 埋蔵文化財出土品の保護措置が必要となる対象は何か。

答 埼玉県教育委員会で文化財かどうか鑑査を行い、文化財と認定したものは、文化財展示館や文化財整理室において、保存、活用します。

問 県道行田蓮田線バイパスの整備状況は。

答 地区内の区間は組合施行による土地区画整理事業により整備を進める予定です。また、地区の境界から高虫交差点までの区間は、市と埼玉県が覚書を締結して

おり、県道整備に係る費用を県が負担し、市が業務を受託し、県道整備を行うことになっていきます。市としては、令和6年中に路線測量と予備設計を行う準備を進めます。

問 産業団地の開業は。

答 事業計画では、令和11年に換地処分を行い、土地区画整理事業が完成する予定です。

障害者支援施設の整備について

問 障害者支援施設の整備に向けた事業者の公募時期は。

答 令和6年5月1日から事業者公募に係る要項を市公式ホームページで公表しています。提出期限は、6月28日までです。

問 応募申し込み期間が終了した後のスケジュールは。

答 現在、ヒアリングは7月末に実施することを予定しており、書類審査及びヒアリング審査の採点結果の最も高い事業者を候補者として選定する予定です。

問 施設の定員は。

答 障がい者支援施設については、60名から70名程度、短期入所施設については、10名以上を予定しています。
※ほかに、市道355線道路改良事業について質問。



榎本 菜保（日本共産党）
働く人を大切にした学童運営を通じて子どもの健全で豊かな成長と発達の保障を

問 学童保育所では、憲法や児童福祉法で国や自治体の公的責任による子どもの権利や発達の保障が求められている。市の認識は。

答 総体的な責任を担っているとの認識です。

問 学童支援員全99名のうち58名という大規模な人事異動が3月にあり、一度にこれだけの異動は支援員も利用者親子も困惑したとの声があるが、市はその影響を検討しなかったのか。

答 影響は生じるものと思っており、今回は良好な保育環境を作るためと指定管理者に確認しました。

問 地方自治法には、指定管理者に対し市の独自調査で指導・監査できる旨の規定がある。市独自の支援員へのヒアリングや、学童保育所運営検討委員会で、専門家や支援員を加えての協議をしていますが。

答 今後、学童保育所運営検討委員会への支援員代表の参加について検討していきます。

問 公的責任として、支援員の処遇改善や人員増員のための予算措置が必要では。

答 指定管理者が支援員に寄り添って声を聞き取り、それを市としっかり話すことが処遇改善につながると考えています。

障がいのあるにかかわらず誰もが安全で自由に移動できるバリアフリー化の推進を

問 障がい者の数は高齢者中心に増加傾向で、誰もが参加できる社会形成は主要課題。しかし市内道路はバリアフリーに至っておらず、あらゆる人の移動の自由・権利が守られている状況にない。音響式信号機の設置や点字ブロックの敷設、当事者を交えたバリアフリー協議会の設置等で推進しては。

答 横断歩道を安全に渡るため、音響式信号機は障がい者のみならず高齢者や子どもにもたいへん重要なものです。また、点字ブロックの設置検討が必要です。歩道幅員の不足や優先順位、予算の関係で設置が難しい場合があります。既存の計画に基づき、ご意見を伺っておりますので、協議会を作る予定はありません。



湯谷百合子（無会派）
PTAについて

問 PTA加入は任意で、県が配布した「よりよいPTA活動にするための参考事例」において、加入の意思確認を入会届という書面とする例が紹介されていた。入会届実施の学校はあるか。

答 書面での入会の意思確認はしていません。

問 学校が児童・生徒の個人情報を提供するには、個人情報保護法があり、手

続きが必要。学校やPTAの活動が法令にのっとった活動になるよう、市はどのように指導しているか。

答 個人情報の提供は、法令にのっとり、保護者に確認の上提供するように指導しています。

敬老祝金について

問 77歳・88歳・90歳・100歳の祝金の贈呈時期は。

答 敬老の日もしくは老人週間の時期に実施しています。

問 昨年9月に100歳になったかたが、今年、お祝いされる前に亡くなった場合は。

答 ご遺族に弔慰金として支給します。

問 他市では100歳のお祝いは、本人の誕生日に支給している例がある。100歳は今年15人。100歳だけは、誕生日に祝金を支給する方が「市が祝う」という気持ちが伝わると思うがいかがか。

答 敬老を祝う事業として現行どおり実施していきます。

公共施設整備における各整備計画と老朽化進捗について

問 老人福祉センターは築46年。トイレ、エアコン、風呂が故障した。計画と現況は。

答 7月中旬頃復旧の見込みです。エアコンは、予防保全の観点で更新に向け取り組みます。

問 中央保育園は築45年で建て替えた。黒浜保育園は今年築47年で相当老朽化

が進んでいる。建て替えを視野に検討すべきでは。

答 建て替えは場所の問題など課題があるが、検討する課題の一つと受け止めます。

問 小中学校のトイレは、令和9年度までに洋式化率70%ということだが、「埼玉一教育水準の向上をめざすまち、教育するなら蓮田市へ」をスローガンとしていることから、トイレ整備は急ぐべきではないか。

答 教育水準とは別問題と考えています。トイレは遅れていますが、がんばります。

月 日	会 議	人数
6 / 10	本会議（開 会）	1
6 / 14	本会議（議案質疑）	0
6 / 17	委員会（総 務）	0
6 / 18	委員会（民生文教）	2
6 / 19	委員会（建設経済）	1
6 / 21	本会議（一般質問）	4
6 / 24	本会議（一般質問）	10
6 / 25	本会議（一般質問）	21
7 / 2	本会議（閉 会）	2
合 計		41人

6月定例会傍聴状況

9月定例会は

8月28日(水)

開会の予定です

蓮田市議会

議会中継について

■議会中継について
本会議は、インターネットによるライブ中継並びに録画映像の視聴が可能です。



第1回臨時会

会期 8 / 1 (木)

付託委員会 7 / 25 (木)

民生文教委員会

継続審査となっていた市長提出の1議案（議案第41号）については、7月25日に民生文教委員会を開催し（再付託）審査のうえ（委員会では総員賛成、第1回臨時会が8月1日に開催され審議が行われました。採決の結果、賛成多数で可決しました。委員会の審査概要および討論は次号に掲載いたします。

議案第41号 訴えの提起について

※議案の内容は、P4に掲載しています。